新緑と紅葉の名所

矢ノ原湿原

鳥のさえずりや風の音を聞きながら、
自然の中の散策を楽しみませんか？
夏でも冷たい名水「代官清水」も…。



2025.6 改訂

福島県
奥会津 昭和村観光協会

矢ノ原湿原で気軽に美しい自然を満喫！

駐車場から100mほど歩けば、①湿原が一望できる場所に出ます。
村道側を②湿原のほとりに沿って歩けば、水面に浮かぶ植物などが観察できます。夏でも冷たい名水③代官清水までは歩いて数分です。
本格的に楽しみたい方は④遊歩道入口から一周してみるのもおすすめです(一周約40分)。


ワタスゲ
（6月中旬ごろ）


レンゲツツジ
（6月中旬ごろ）


ミツガシワ
（5月中旬ごろ）


ハッチョウトンボ
（夏）


ミズバショウ
（4月下旬ごろ）


ヒツジグサ
（6月から9月ごろ）


北

一般車両
通行禁止

遊歩道入口

④

①

トイレ 駐車場

至・国道400号→
下中津川地区

②

村道

③

●「戊辰の役」古戦場・
会津藩 野村新平の墓

←至・国道401号
大芦地区


源兵衛清水

姥石山付近に年老いた母を捨てなくてはならなくなった源兵衛の悲しみの涙が、清水となって涌き出したという言い伝えの残る深層水です。
（飲用にはおすすめしません）


③代官清水

村を視察にきた幕府巡見使の一行がこの清水で喉を潤したところ、あまりのおいしさに、代官にこれを保護するよう申しつけたといわれる名水です。村外からも水を汲みに来る人が絶えません。

動画で見る
矢ノ原湿原

※見ごろの時期は目安です。
その年の気候などによって前後します。


春は目にまぶしい新緑の季節。
（①の場所で5月中旬に撮影）



秋は一面が色鮮やかな紅葉に彩られます。
（②の場所で10月下旬に撮影）

どんな湿原？

矢ノ原湿原は、およそ8万年前にできたといわれる日本で２番目に古い湿原で、昭和村の天然記念物に指定されています。標高660m前後の地点にあり、高層・低層の2つで形成されています。約350種の多彩な植物と野鳥や昆虫の宝庫で、地下水の湧出が豊富であることが特徴です。

季節の見どころ



春の新緑

雪が解けたゴールデンウィークごろ、木々が一斉に芽吹き、鮮やかな新緑に彩られます。ミズバショウやミツガシワの花を見ることができます。



初夏の花

初夏には、ふわふわの綿毛をつけるワタスゲ、鮮やかな朱赤色のレンゲツツジ、水面に小さな白い花が浮かぶヒツジグサなどが楽しめます。



夏の昆虫

夏にはいろいろな種類のトンボが飛び回ります。特に「ハッチョウトンボ」は日本一小さいといわれており、オスは鮮やかな赤色の体をしています。



秋の紅葉

秋になるとヤマウルシやナラ、モミジなどの落葉樹の紅葉で一面が鮮やかなオレンジ色に染まります。紅葉が水面に映るさまは、多くのカメラマンが撮影に訪れる美しさです。

このパンフレットに記載の情報は2025年6月時点のものです。

施設のご案内

●無料駐車場・トイレあり（冬季閉鎖）
●遊歩道あり、一周約40分（一周しなくても楽しめます）
※汚れてもよい靴がおすすめです。
※特に村道から離れた奥の方はクマが出没する可能性があります。クマ鈴を持参するなどお気をつけください。

交通アクセス

■駐車場所在地
〒968-0103 福島県大沼郡昭和村下中津川（番地なし）
カーナビ設定用マップコード MAPCODE©：510 823 043*1
「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

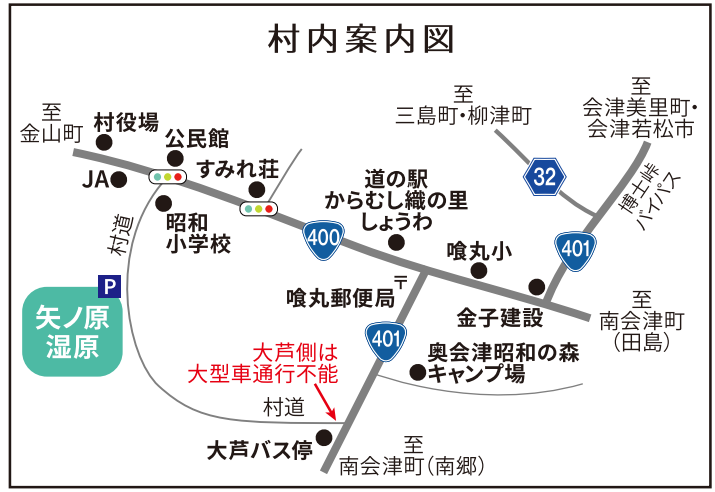
●東北自動車道 西那須野塩原I.C.
——《国道121号・400号》——南会津町——
——《国道400号》——昭和村——《村道》——
——矢ノ原湿原　※約80km

●磐越自動車道 新鶴PAスマートI.C.
——会津美里町——《県道22号》——
——《国道401号（博士峠バイパス）》——
——昭和村——《国道401号・400号》——
——《村道》——矢ノ原湿原　※約45km

Googleマップ

※村道は幅員が狭いため大型バスはすれ違いが困難です。

村内案内図



お問い合わせ先
昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
〒968-0212 福島県大沼郡昭和村喰丸字宮前１３７４
ホームページ https://showakanko.or.jp/